

システムキッチン 取扱説明書

もくじ

安全上のご注意 P.2

ご使用方法
(ペースキャビネット) P.5

ご使用方法
(吊戸棚) P.7

ご使用方法
(シンク) P.8

お手入れ方法 P.10

調整方法 P.12

お問合せ P.14

このたびは、ファーストプラス システムキッチンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(P.2~4)はご使用前に必ずお読みいただき、「安全にお使いください。」

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■お買上げになられました商品とこの説明書の内容とは、機種・間口などにより、仕様が異なることがあります。
予めご了承ください。

■転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書及び据付説
明書、キャビネットやビルトイン機器に付属の説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しく
ださい。

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

△警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または傷害を負うことが想定される危害の程度」を表します。

△注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が負傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を表します。

- お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し、説明しています。



必ず守る

このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



禁止

このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

△警告

- 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの説明書及び製品本体の表示事項をお守りください。



使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



スイッチの切忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

- 調理器具の使用後やお出かけのときは、スイッチを「切」にしてください。



周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



●絶対に改造・分解・修理をしないでください。



火災、感電、破損、水漏れ、ケガの原因になります。

△注意

- てんぷら油等の油類や熱湯を、直接排水口に流さないでください。



流水の流れが悪くなったり、排水金具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。

- 扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番を確実に取付けてください。



●扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。
※蝶番の調整方法は、据付説明書をご覧ください。

- 調理機器の使用中、使用直後は、調理機器に手をふれないでください。



- 棚板の棚受けは、前後・左右で異なりますので、指定のものを確実に奥まで差込んでください。



●棚板が落下してケガをするおそれがあります。
※棚板のセットのしかたは、P.8をご覧ください。

- 調理機器周辺の表面温度は高くなっているので、ヤケドのおそれがあります。



●扉を開けすぎないでください。扉がはずれて、ケガをするおそれがあります。



- 扉や取っ手、引出しにぶら下がらないでください。



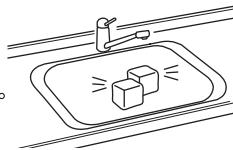
●扉や取っ手、引出しがはずれて、ケガをするおそれがあります。

△注意

<ul style="list-style-type: none"> ●棚板やスライド収納には、許容積載量以上載せないでください。 <p>必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●引出しの開閉時は、ワークトップや引出し 上部に手をかけないでください。 <p>禁止</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●スライド収納に過度の荷重を かけたり、踏み台代わりに乗 ったりしないでください。 <p>禁止</p> <p>転倒や破損の原因となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●引出しあは1段ずつ開閉してください。 <p>必ず守る</p> <p>上下または左右同時に引出しや食器洗い乾 燥機を開閉させると、扉どうしがこすれ破損や キズの原因となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●スライド包丁差しに、扉の開閉に支障をきたす形状の 包丁は収納しないでください。扉を閉めるときは、包 丁が確実に納まっているか確認して閉めてください。 <p>禁止</p> <p>スライド包丁差しが壊れたり、中の包丁 が落ちてケガをするおそれがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れたままにしないでください。 <p>必ず守る</p> <p>油、調味料などの食品の汚れは、腐食やカビ の原因となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●圆形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使用 したり、近づけたりしないでください。 <p>禁止</p> <p>水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレ ス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因となりま す。保管の場所や方法に十分注意してください。 その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく 読んでお使いください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●キャビネット内は湿気やすい場所なので、定期的に 扉を開け風を通してください。 <p>必ず守る</p> <p>湿気たまま放置しますとカビの 発生原因となります。</p>
<p>※塩素系ヌメリ取り剤について</p> <p>塩素系のヌメリ取り剤は、水分に反応して塩素 系のガスを発生します。このガスはヌメリ取り に効果ありますが、ステンレスなど金属をサビ させたり、ゴムを劣化させます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●水受けトレイや引出しへトレイ等、樹脂製のものを 食器洗い乾燥機に入れないでください。 <p>禁止</p> <p>変形するおそれがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●扉キャッチ機構のロック作動時に、扉を無理にあ けないでください。 <p>禁止</p> <p>ラッチの誤作動や、フックが変形して扉 がピッタリ閉まらなくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●キャビネットや扉がぬれたら、 すぐに拭きとってください。 <p>禁止</p> <p>ぬれたまま放置するとふく れやはがれの原因となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●電球や蛍光灯は指定のワット数と形状のものをお 使いください。 <p>必ず守る</p> <p>ワット数と形状が異なると火災のおそ れがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●エンドパネルにぬれた布等を 掛けないでください。 <p>禁止</p> <p>ぬれたまま放置するとふくれや はがれの原因となります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●キッチンカウンター前面から垂れた水滴は放置せず に速やかに拭き取ってください。裏側の芯材が濡れ てふくれが生じる場合があります。 <p>必ず守る</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄処分の際は、必ず許可を受けている業者に処 理依頼してください。詳しくは、販売店へご相談 ください。 <p>必ず守る</p>

⚠ 注意

- シンク内やカウンター上部に冷凍食品や氷、ドライアイスなどを放置しないでください。シンクやカウンターの裏側に結露が生じて、変色やサビ・カビの原因となります。

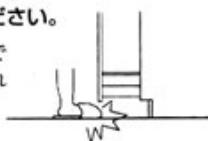


必ず守る

- 扉やスライド収納の開閉は、足元に注意して行ってください。



足をはさみ込んで
ケガをするおそれ
があります。



- キッチンカウンターとシンクの接合部をお手入れする際には金属タワシなどの固い素材の用具を使用しないでください。
※シンク接合部から漏水するおそれがあります。

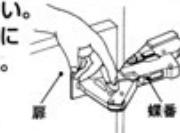


必ず守る

- 蝶番周辺は触らないでください。
特に小さなお子さまが、蝶番に触れないようご注意ください。

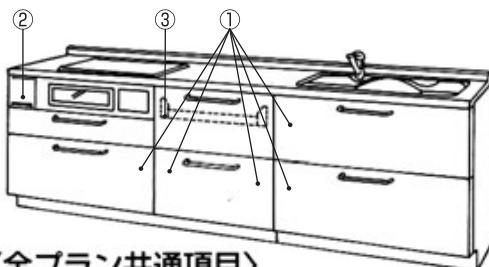


扉の開閉時に指をは
さみ、ケガをするお
それがあります。

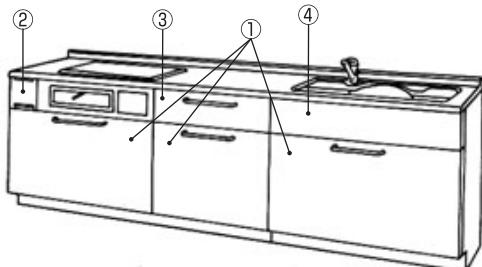


2 ご使用方法（ベースキャビネット）

<type-W>



<type-S>

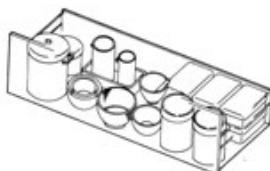


〈全プラン共通項目〉

① スライド収納

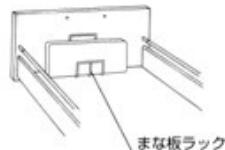
〈シンクキャビネット〉

水周りで使うボウルやザル、水を入れてから火にかける大鍋などを収納しておくと便利です。



キャビネット内にまな板をたてて置くことができるまな板ラック付です。

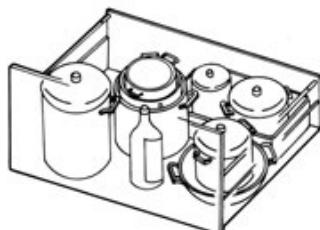
(type-Wのみ)



※まな板ラックは現在同梱されておりません。

〈コンロキャビネット〉

コンロ周りで使う、大きな鍋やフライパン、サラダ油などを収納しておくと便利です。



〈調理キャビネット〉

調味料ボトル等の収納に便利です。

①・③の各々の引出し

許容積載量 15kg

※スライド収納、調理引出しの取外し、取付け、調整方法についてはP.12をご覧ください。

② 小引出し

コンロの横についている小引出しです。

調味料などを収納していただくと、調理の時、サッと使えて大変便利です。

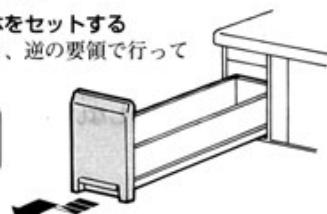
- 引出し本体を引抜く

引出し本体を引ききた後手前を持ちあげて、抜いてください。

- 引出し本体をセットする

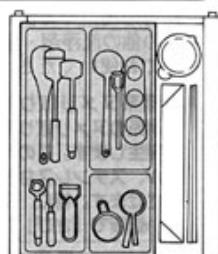
引抜く時と、逆の要領で行ってください。

許容積載量
5kg

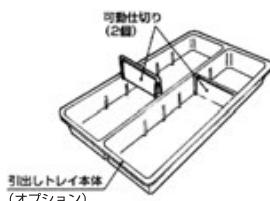


③調理引出し

普段よく使う計量カップやレードル類の収納に便利です。



[Vレールの場合]

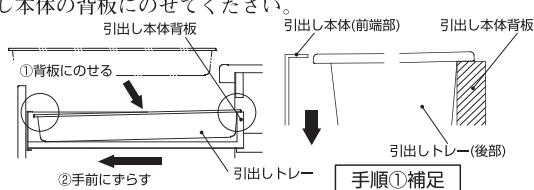


[S・Yレールの場合]



[Vレール内引出しへの引出しトレーの出し入れ]

- ①右図を参考に引出しトレー後部の先端を引出し本体の背板にのせてください。
- ②引出しトレーの前側を引出し本体にセット
した後、引出しトレーを手前にずらして後部先端を引出し本体の中に入れてください。
- ③取り出す場合、逆の要領で行ってください。



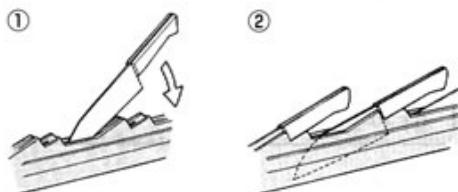
スライド包丁差し (type-W)

シンクキャビネットの上段部扉裏に4本の包丁を収納できます。包丁差しは取外して丸洗いできます。

●包丁の入れ方

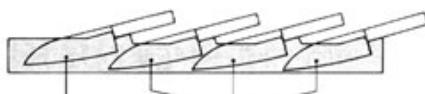
包丁差しの溝に沿って刃先から包丁を差込み
②のように確実にセットしてください。

① ②



*包丁のサイズや形状によって扉が閉まらなかったり
包丁が入らない場合があります。扉の開閉に支障を
きたす形状の包丁は、収納しないでください。

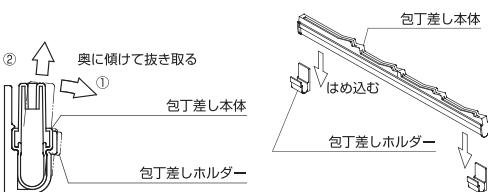
参考寸法



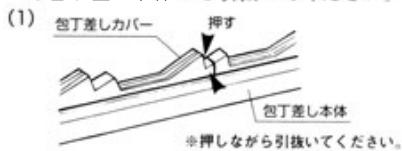
*刃渡り約200mmまで *刃渡り約180mmまで
(菜切り包丁も入ります。) (文化包丁の場合。)

●包丁差しの取外し

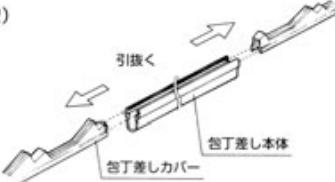
- ①右図のように包丁差しホルダーから包丁差し本体を取外します。
包丁差しをセットする場合は、取外しと逆の要領で行ってください。



- ②図のように包丁差しカバーを左右に分割して、包丁差し本体から引抜いてください。



(2)



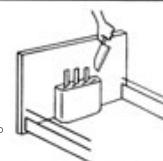
- ③セットする場合は、取外しと逆の要領で行ってください。

包丁差し (type-S)

シンクキャビネットの扉裏に4本の包丁を収納できます。

⚠ 注意

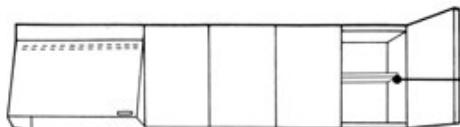
- 包丁を納めるときは、刃先から入れ、中に納まったか確認してください。



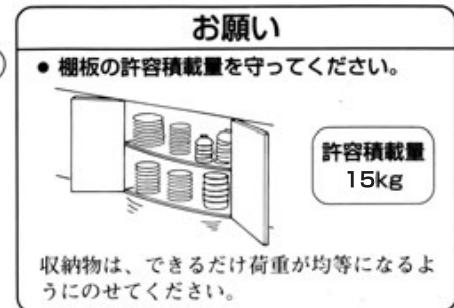
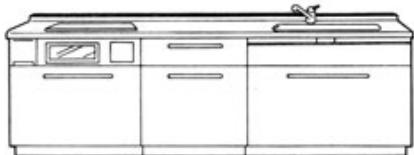
落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。

刃渡りの長い包丁は包丁差しより刃先が出る場合があります。十分に注意してください。

3 ご使用方法 (吊戸棚・食器戸棚・カウンターキャビネット)



①

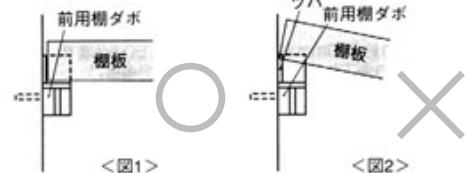
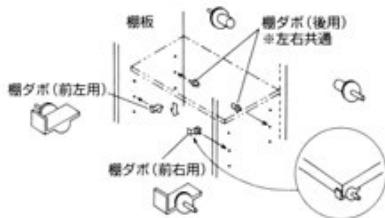


① 移動棚

棚板の高さを収納するものに合わせて調節することができます。

・棚板の固定

棚ダボを棚受け穴に差込み、**<図1>**のように、棚板がガタつかないよう水平にのせてください。
<図2>のように棚ダボのツバの上に棚板がのらないように確実にのせてください。



扉キャッチ機構

不意に起こる地震や突然の揺れがきたら、自動的に感知して扉をロックし、収納物の落下を防ぎます。

※地質・建物の構造・階数・ユニットの使われ方により、性能を充分に発揮しない場合があります。

・通常使用時

- ① 通常使用時、扉は自由に開閉できます。 (図1)
- ② 震度4~5の地震の揺れが加わるとロックされます。
※揺れが続いている状態や、キャビネットが傾いている状態ではロックが保たれます。 (図2)
- ③ 揺れやキャビネットの傾きが直ると、自由に開閉できる状態に戻ります。

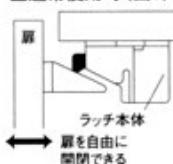
・お手入れ方法

ほこりやゴミがラッチ本体にたまると、誤作動の原因となりますので、水をふくませた布などで拭いて取除いてください。

・作動確認

扉を調整した後、据付説明書を参照して必ずラッチの作動確認をしてください。

■通常使用時(図1)



■ロック時(図2)



4 ご使用方法 (FJシンク)

洗剤ポケット



シンク周りの洗剤類を、まとめて収納できます。
着脱式なので、取外して丸洗いできます。

- 取外し・取付け方
洗剤ポケットを固定フックにひっかけてセットして下さい。



クズカゴ付排水トラップ

●ゴミの収集方法

シンクの調理クズや、茶がらなどを水といっしょに流しながら、ストレーナーからクズカゴに押込んでください。

●ゴミの捨て方

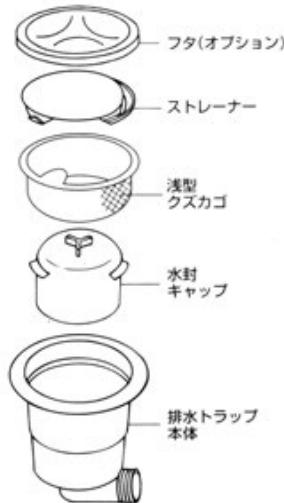
ストレーナーを外して、クズカゴを取り出し、充分水を切ってから捨ててください。

クズカゴは、においやヌメリが出る前に、ゴミを捨てていただくように浅型になっています。

●止水の方法

ストレーナーを外して、フタをセットしてください。

一時的に排水を止めることができます。



クズカゴ付排水トラップ(オプション)

●ゴミの収集方法

シンクの調理クズや、茶がらなどを水といっしょに流しながら、ストレーナーからクズカゴに押込んでください。

●ゴミの捨て方

ストレーナーを外して、クズカゴを取り出し、充分水を切ってから捨ててください。

クズカゴは、においやヌメリが出る前に、ゴミを捨てていただくように浅型になっています。

●止水の方法

ストレーナーを外して、フタをセットしてください。

一時的に排水を止めることができます。

●高圧洗浄する場合、水抜きする場合

排水トラップセットに同梱の「排水トラップの洗浄口についての説明」を参考に洗浄口または、水抜き口を取り外して作業してください。



※ 各オプションをご用意しております。

オプションアイテムについてはホームページをご確認ください。

5 お手入れ方法

シンナーやベンジンなどの有機溶剤や漂白剤（塩素系）を使用しないでください。



変形や変色する場合があります。

粒子の粗いみがき粉や金属タワシを使用しないでください。



キズが付くことがあります。

アルカリ性や酸性の強いものを使⽤したり、付着させたりしないでください。

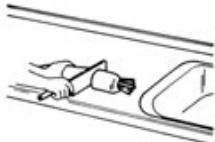


成分が残っていると、劣化や腐食の原因になります。

トップ・シンク

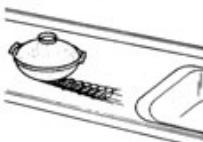
お願い (いつまでも快適にお使いいただく為のポイントです。ぜひ、お守りください。)

直接刃物を使用しないでください。



キズが付きますので、まな板をご使用になってください。

土鍋や洗いおけなどを引きずらないでください。



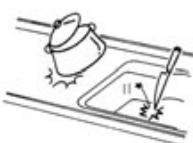
鍋底の凸凹や、シンク内の砂や泥でキズが付くことがあります。

熱いフライパン等を直接置かないでください。



変色、ひび割れ表面が波打つ原因になりますので、鍋敷き等をご使用になってください。

鋭利な刃物や重量物を落とさないでください。



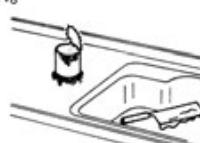
へこみ、ひび割れ、キズの原因になります。

塩、油、調味料や漂白剤（塩素系）、消毒剤などをこぼしたまま放置しないでください。

固形または、粉末の塩素系洗浄剤、漂白剤、消毒剤は使わないでください。

サビや腐食、変色、劣化の原因になります。

ぬれた包丁、缶詰など、鉄製のものを長時間放置しないでください。



もらいサビの原因になります。

〈普段のお手入れ〉

お湯又は水でうすめた台所用中性洗剤を布にふくませて拭き、水拭きのあと、乾いた柔らかい布で拭いてください。



※ボストフォームカウンターの場合は、お湯又は水拭きのあと、乾いた布で拭いてください。

※水切りフレート（裏側も含めて）も、トップ・シンクと同じようにお手入れしてください。

〈人工大理石の表面にキズがついた時〉

① 240番の目の粗いサンドペーパーで、キズが消えるまで磨いてください。



② 400番の目の細かいサンドペーパーで軽く磨いて、更にスコッチブライト（ナイロンタワシ）で軽く弧を描くように磨いてください。



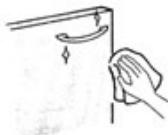
③ スポンジにクリームクレンザーを付けるか、水で湿らせたスコッチブライトで、更に全体を磨いてください。



扉・キャビネット・プラスチック部

〈普段のお手入れ〉

固く絞った布で水拭きした後、乾いた柔らかい布で優しく水分を拭きあげてください。汚れを放置しているとサビや腐食、カビの原因となります。



● ガラス扉

研磨剤の入っていない市販のガラスクリーナーをご使用ください。

〈汚れのひどい場合〉

水でうすめた台所用中性洗剤を布にふくませて拭き、水拭きの後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

〈プラスチック部〉

トレイや包丁差しをお手入れする際は、熱湯を使用しないでください。変形するおそれがあります。



お手入れ後はキャビネット内部を空にして扉を開けて風を通してください。キャビネット内部は湿気やすい場所なので、お手入れ時以外でも扉を開けて風を通すようにしてください。



扉・キャビネットにテープ類を貼らないでください。



表面がはがれたり、変色や、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。

排水トラップ・クズカゴ

〈普段のお手入れ〉

お湯又は台所用中性洗剤で洗い流してください。

時々、排水パイプ用洗剤を使ってお手入れしてください。

※排水パイプ用洗剤は説明書通り正しくお使いください。



※排水トラップ内の（封水）を切らさないようにご注意ください。

封水が切れるごとに、下水や浄化槽からの悪臭や虫が侵入してくるおそれがあります。

また、浄化槽からの塩素ガスなどで、シンクなどのサビや腐食の原因にもなります。



〈水の流れが悪くなったら〉

クズカゴが詰まっているか点検してください。

次に水封キャップを「開」の方向に回して外し、野菜クズなどが詰まっていたら取除いてください。

お手入れの後は、必ず水封キャップを取付けてください。



汚れの種類

水あか・湯あか

水道水に含まれるケイ酸などが蓄積した白っぽくざらついた汚れです。残った水滴により発生し、放置するとやっかしい汚れになります。まことに水気を拭き取ってください。軽い水あかは、台所用中性洗剤をかけ2~3分おいてスポンジでこすり落としてください。

もらひサビ

濡れた缶や水道水に含まれる鉄、外部から入った鉄粉などに発生したサビがステンレスやプラスチックに付着したものです。

濡れたものの置忘れにご注意ください。

クリームクレンザーをつけたスポンジで、表面をキズつけないよう軽くこすり落としてください。

ヌメリ

細菌やカビなどの微生物が繁殖し付着した汚れです。

まめにお手入れをして、栄養源となる汚れをためないことで予防してください。台所用中性洗剤で落ちない汚れは粉末の弱アルカリ性洗剤をかけ、しばらくして水で洗い流してください。

カビ

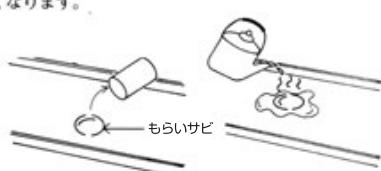
湿度70%以上、気温20°C~30°C以上で発生しやすく増殖してきます。また、空気の動きがあまりないところから発生しやすいので、調理後はしっかり水気・食品カスをとり、こまめな換気を行ってください。

〈ステンレスのサビについて〉

ステンレスにつくほとんどのサビは、素材自体の腐食ではなく、缶・包丁など金属製品の放置によるもらひサビです。上記の方法で落とすことができ、お湯で温めておくとより落としやすくなります。

ただし、ステンレスは全くサビないわけではありません。

通常、ステンレスがサビないのは、表面の薄い酸化被膜によって守られているためです。この酸化被膜は、少しくらいキズがついても自己修復する性質を持っています。しかし、塩素による浸食は修復が追いつかず、むきだしのステンレスが空気に触ることでサビの発生の原因となります。漂白剤など塩素を含む洗剤を使用した場合は、しっかりと洗い流してください。



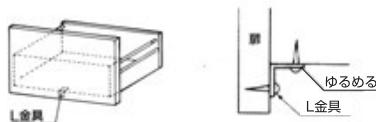
6 調整方法

スライド収納・引出し

[S・Yレール]

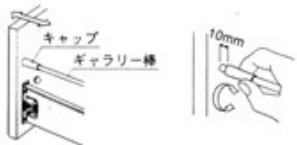
● 調整方法

※スライド収納前板の下部にL金具がついている場合は、固定されているネジをゆるめ、調整を行ってから締め直してください。



・前板傾き調整

図の位置にギャラリー棒のキャップをあわせて回すと、前板の傾きを調整できます。



・左右の調整

引出レール左右のⒶのネジをゆるめ、調整後締め直してください。



・上下の調整

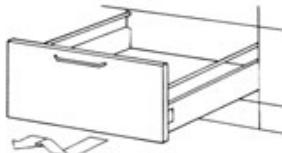
Ⓑのネジを回すと前板の上下を調整できます。



● 取外し・取付け

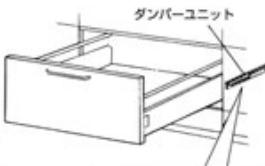
引出しほどを引ききった後、手前を持ち上げて引抜いてください。

取付ける時は、取外しと逆の要領で行ってください。

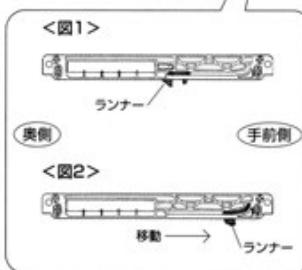


● スローインクローズ(オプション)

スローインクローズ付きの引出しが完全に閉まらない場合、ダンバーユニットのランナーの位置を移動させてください。



・引出しひ引出した状態でランナーが<図1>の位置にある場合、引出しひ完全に閉まらないことがあります。

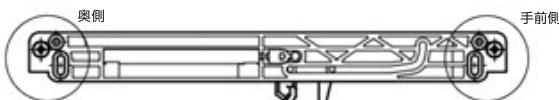


・一度引出しひ取外し、<図2>の位置まで左右両側のランナーを移動させてから、引出しひ取付けてください。

※ランナーが<図2>の位置にあっても引出しひ完全に閉まらないときは、扉に物が挟まっていたり、引出しひ奥に物が落ちていないかご確認ください。

※スローインクローズはゆっくり自動で閉まる機能ですが、収納重量や引出レールの状況により同じサイズの引出しひでもその動作に違いが生じますが故障ではありません。

ダンバーユニット調整方法 (タイプW・Sのスローインクローズ仕様)



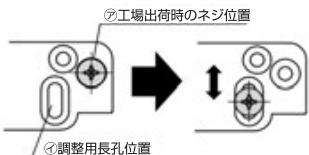
(図1) スローインダンバーユニット (キャビネット側にネジ固定)

● 上下調整

①工場出荷時、ダンバーユニットの固定ネジが④の位置にある場合、一旦ネジを外してください。

②外したネジを④の長孔のセンターの位置につけ替えて調整してください。(手前側、奥側共)

*工場出荷時④の長孔の位置にある場合はそのままの位置でネジを緩めて調整してください。



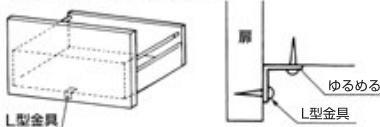
(図2) 図1の手前側○部拡大図

[Vレール]

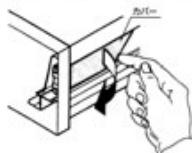
● 調整方法

- ① スライド収納の底板とL型金具でつながれている場合は、固定されているネジをゆるめ、調整を行ってから締め直してください。

<スライド収納の場合>



- ② 引出しサイドのカバーを外してください。



● 上下の調整

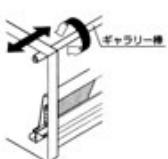
- ④のネジを回すと、上下に調整できます。
※ネジが一回転すると、扉は元の位置に戻ります。



● 前板傾き調整

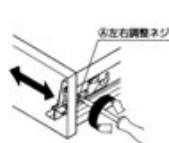
(ギャラリー付の場合)

図のようにギャラリー棒を回すと、前板の傾きを調整できます。



● 左右の調整

- ⑤のネジを右へ回すと右に、左へ回すと左に調整できます。
扉の左側からは⑤のネジを右へ回すと左に、左へ回すと右に調整できます。



● 取外し

- ① スライド収納を引ききった後、手前を持ち上げてロックを外してください。(カチッと音がします。)
② スライド収納本体を持ち上げながら、引抜いてください。



● 取付け

- ① 受けレールを奥まで入れてください。



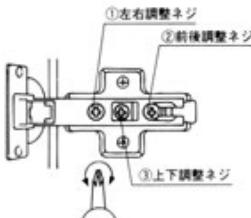
- ② スライド収納をレールに載せて、奥まで押してください。(カチッと音がしてロックが掛かります。)
その後、2~3回開閉して異常がない事を確認してください。



扉

● 調整方法

扉は、左右や前後のズレがないように取付けていますが、お使いになっているうちに扉がガタついたり、微調整が必要になる場合があります。その場合は、ドライバー1本で調整できますので、蝶番の①②③のネジで行ってください。



・扉の左右調整

②のネジを締めたまま①のネジを回して調整してください。



・扉の前後調整

②のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。



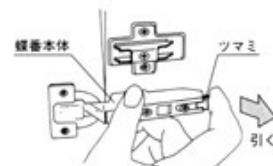
・扉の上下調整

③のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。



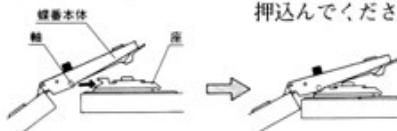
● 取外し

扉を持ちながら、蝶番本体のレバーを引いて、外してください。



● 取付け

蝶番本体の軸を座にはめてください。



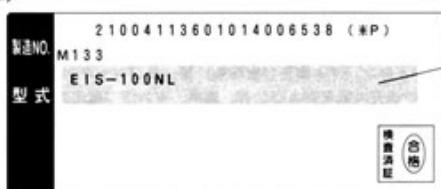
蝶番本体を座にカチッと音がするまで確実に押込んでください。

7 お問合せ

お気付きの点や故障のおきたときは、お買上げ販売店にお問合せください。

なお、ご連絡いただくときは、扉の裏面やキャビネット内に貼付けてあるラベルの型式番号もあわせてお知らせください。

〈見本〉



お客様受付センター 千葉県流山市おおたかの森東1丁目10-3 ロータススクエアおおたかの森2F-5号室

〒270-0138 TEL(0120)884-115

[受付時間] 平日9:00～17:00(土日祝、夏期・年末年始休暇は除く)

千葉営業所

千葉県流山市おおたかの森東1丁目10-3 ロータススクエアおおたかの森2F-5号室

関東営業所

東京都武蔵野市西久保1-6-22 IGHD別館8F

名古屋営業所

愛知県名古屋市中区栄2丁目9-5 アーク栄東海ビル8F

大阪営業所

大阪府大阪市西区京町堀1丁目17-16 京町堀センタービルディング6F603号室

〒270-0138 TEL(04)7178-3370

〒180-0013 TEL(0422)60-3355

〒460-0008 TEL(052)218-5970

〒550-0003 TEL(06)6443-2662

保証書

出張修理

品名	システムキッチン	保証期間	お買い上げ日から キッチン本体 2年
*お客様	ふりがな ご芳名 ご住所 電話 ()	*お買い上げ日 西暦 年 月 日	店名 住所 電話 ()
		*販売店	

*印欄に記入がない場合は有効となりません。もし記入がない場合には直ちにお買い上げの取扱店にお申出ください。

無料修理規定

本書はお買い上げ日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、お買い上げ取扱店あるいは弊社が無料修理いたします。
 - ①保証期間中に故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買い上げ取扱店に修理をご依頼下さい。提示のない場合は、有償とさせて頂きます。
 - ②何らかの事情で、お買い上げ取扱店に修理がご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しているお近くの営業所に問い合わせください。
 - ③一部の部品（キャビネットの扉、ワードローブなど）につきましては同一部品で修理できない場合があります。
2. ご転居、住宅の譲渡などで、保証書表示のお客様氏名と所有されているお客様氏名とが異なる場合は、事前にお買い上げ取扱店にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には、有料にさせていただきます。
 - ①住宅用途以外で使用した場合の不具合また、住宅用途と異なる使用方法による場合の不具合
(例えは、業務用としての使用、車両・船舶・備品としての使用等)
 - ②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
(例えは、市販されている家庭用中性洗剤以外の商品を使用、お手入れ不足による汚れの付着、さび、カビの発生、変質、変色、給水管、排水管の詰まり等)
 - ③お買い上げ後の、お客様自身による施工または移設（構設）、分解、改造などに起因する不具合
 - ④建築躯体の変形など対象商品本体以外の不具合に起因する不具合
 - ⑤部品、製品の経年変化または使用に伴う自然消耗などによる生じる不具合
(例えは、塗装品の色あせ、木製品の反り、ひび割れ、変色、樹脂部品の変質、変色等)
 - ⑥水垢、赤水（錆）等給水側の供給事情や、配管不備による不具合
 - ⑦犬、猫、鳥、鼠などの小動物や羽ありかどの昆虫の行為による不具合
 - ⑧消耗部品の消耗に起因する不具合
照明の管球、グローランプ、バッキ（ゴム製及び樹脂製）等、及びニーキング切れ等の修理、交換
 - ⑨火災、地震、水害、雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害（液化ガスなど）などによる不具合
 - ⑩当社の手配によらない業者の輸送上、加工上、組立上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合
 - ⑪離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書の保証対象はキッチン本体のみで、ビルトイン機器（ガス、IH調理機器、レンジフード、食器洗い乾燥機、水栓金具）などは、各々添付されている保証書記載内容によります。
5. 本書の保証対象は日本国内に於いてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理記録

年月日	内 容	修理員名
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

お客様にご記入いただいた個人情報は、保障期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきますのでご了承ください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によつてお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ取扱店または取扱説明書に記載しているお近くの当社営業所にお問い合わせください。

ファーストプラス 株式会社

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1丁目6番22号 IGHD別館8F TEL(代表) 0422-60-3350

MEMO